

JA全農 とくしま情報

地域の問題や活動のご報告
今後のお知らせなど
JA全農とくしまと、あなたをつなぐ
コミュニケーション情報誌

2024
5月号
No.775



四国地区の王者に輝いた徳島ヴォルティスジュニア

マンスリーレポート 2

・東京・愛知・大阪・徳島で

徳島県産春にんじんの消費宣伝セミナー

・令和6年度第1回JA米穀担当部課長会議

・徳島インディゴソックスホーム開幕戦でPR

・小松島市で水稻直播新技術実演見学会

交通安全のお知らせ 4

・春の全国交通安全運動実施について

旬の野菜でおうちごはん 5

・ライスペーパーネギ焼き

トピックス 6

・営農コラム

マンスリーレポート

～4月12日は「徳島県にんじんの日」～

東京・愛知・大阪・徳島で 徳島県産春にんじんの消費宣伝セミナー

4月12日、徳島県にんじん振興協議会(会長＝坂本雅彦県本部長)は、東京・名古屋・大阪・徳島の4市場において「徳島県産春にんじん消費宣伝セミナー」を開催しました。

これは、全国一の出荷量を誇る徳島県産春にんじんの認知度向上と消費拡大につなげるため、徳島県や市場関係者の協力のもと、4月12日の記念日「徳島県にんじんの日」に合わせて毎年実施しているものです。

本年は、東京都中央卸売市場大田市場、名古屋市中央卸売市場北部市場、大阪市中央卸売市場本場、徳島市中央卸売市場の計4市場で同時開催し、産地JAから市場関係者に向けて本年産の春にんじんの出荷状況や仕上がりの良さを伝えました。

また、昨年に続いてケンミン食品株式会社と共同で調理した「ニンジンたっぷりチャプチェ」の試食配布をおこなったほか、トンネルハウス栽培の風景を再現した「ジオラマ(1/40縮尺の模型)」を各会場に展示して、徳島県産春にんじんの栽培工程を紹介しました。

徳島県の春にんじんは、雨の当たらないトンネルハウスの中で時間をかけて大切に栽培されており、柔らかくて甘いことが特徴で、3月から5月までの出荷量は全国1位となっています。

本協議会では、一人でも多くの方に徳島県産春にんじんの魅力をPRするため、県下JA・県行政・関係企業等との連携・協力により、試食や展示、SNSを活用したキャンペーンといった消費宣伝活動を県内外で展開してまいります。



配布したにんじんチャプチェ



東京都中央卸売市場大田市場



名古屋市中央卸売市場北部市場



大阪市中央卸売市場本場



栽培の様子を再現した模型が関心を集めました



徳島市中央卸売市場

～生産者手取りの最大化・有利販売へ～

令和6年度第1回JA米穀担当部課長会議

4月18日、当県本部米穀総合課は、県下のJA米穀担当部課長など関係者24人出席のもと、令和6年度第1回JA米穀担当部課長会議を当県本部会議室で開催しました。

会議では、はじめに当県本部米穀畜産部の西川伸哉部長が「令和6年産米にかかわる適正な管理と円滑な流通に向けて、本会の集荷販売基本方針などの報告をさせていただきます。本日の会議が生産者の経営安定につながることを期待します」とあいさつをおこないました。

農林水産省の公表では、5年産米の主食用水稻の作付面積は前年▲9,000haとなり、結果として予想収穫数量は当初生産目標の670万トンを下回る661万トン、令和6年6月末時点の民間在庫数量は適正水準180万トンを切る177万トンと見通されています。これらを背景に3月相対基準価格については15,428円(60kg、税込)と前年同時期より1,551円上昇しています。一方で、主食用米の需要量は年々減少しており、昨年を11万トン下回る670万トンと見込まれていることから、飼料用米等への転換が需給バランスの均衡に不可欠となっています。

また、令和6年産米の集荷販売基本方針として、①生産・集荷対策②販売力強化③安全・安心への対策④物流合理化による円滑な集出荷体制の強化⑤農産物検査員の検査技術の向上を掲げ取り組むことが報告されました。続いて協議事項として、令和6年産米の出荷契約(案)、令和6年産飼料用米の出荷契約および売買契約(案)について米穀総合課職員より説明し出席者で協議をおこないました。

当県本部では、徳島米の品質向上やJAグループ徳島の集荷数量拡大に取り組み、生産者の手取りの最大化、有利販売に努めてまいります。



開会のあいさつを行う西川伸哉部長



協議事項について説明をする米穀総合課職員

～徳島県産飲料と春にんじんの消費宣伝～

徳島インディゴソックスホーム開幕戦でPR

3月30日、徳島県と徳島県すだち・ゆこう消費推進協議会、徳島県にんじん振興協議会は、徳島市のむつみスタジアム(蔵本公園野球場)で開催された四国アイランドリーグPlus2024公式戦・ホーム開幕戦「徳島インディゴソックスvs高知ファイティングドックス」において、スタヂ飲料(ザすだち)と春にんじんの消費宣伝をおこないました。

この日は親子連れなどの観戦者1,007人が来場し、開場時刻の15時30分から当県本部園芸販売課や徳島県の職員らが、入場ゲートでザすだちと春にんじんを先着100人に配布しました。

試合前のセレモニーでは、後藤田正純徳島県知事の激励のあいさつに続いて、徳島県のマスコットキャラクター・すだちくんが両チーム監督にそれぞれザ・キャロット(にんじんジュース)を2箱ずつを贈呈しました。

試合は徳島インディゴソックスが4-0で快勝し、3年連続の白星発進となりました。



入場ゲートでザすだちとニンジンを配布する園芸販売課職員



すだちくんから両チームへザ・キャロットを贈呈

マンスリーレポート

～水稻直播栽培の普及へ～

小松島市で水稻直播新技術実演見学会

4月10日、徳島県小松島市の有限会社榎山農園水田圃場で、水稻直播栽培新技術RISOCARE®(リゾケア)を活用した播種作業の実演見学会がおこなわれ、関係者約30人が集まりました。

この実演見学会は、当県本部営農支援課が有限会社榎山農園及びJA東とくしま、シンジェンタジャパン株式会社、ヤンマーアグリジャパン株式会社の協力のもと、新技術を広く普及させることを目的として昨年度から行っている取り組みです。本年度は、より多くの生産者の認知度向上を図るため、新たに行政機関と連携し、県内大規模水稻栽培農家などに実演見学会開催について周知し参加を呼びかけました。

今回播種した「リゾケア® XL」は、シンジェンタジャパン株式会社が開発した湛水直播向けコーティング処理済み種子で、複数の種子処理剤と独自の種子処理技術を組み合わせています。既存技術である「鉄コーティング」「カルパーコーティング」と比較して安定した苗立ちを実現し、初期病害虫防除に優れた効果を発揮することが期待できます。また、育苗作業や苗箱の運搬が不要であり、労働時間の削減、省力化、軽労化などが図れるメリットがあります。

参加者は、直播用乗用田植機(ヤンマー乗用田植機YR6DA)の説明や作業方法の指導を受けた後、圃場(1,983㎡)で「リゾケア® XL」播種や同時におこなう除草剤散布、肥料施肥作業を熱心に見学しました。

営農支援課橋本良職員は、直播栽培技術について「徳島県内において水稻直播は全体の1%にも満たない。しかし大規模生産者においては、本技術を導入することで労働時間の削減、重労働からの解放、従来の移植栽培との組み合わせで作期分散が可能というメリットは大きいと考える。この技術が、直播栽培の一つとして生産者に認識され選択肢が広がることを期待している」と熱く語っていました。



田植機の説明を受ける参加者



リゾケアを田植機にセット



田植えの様子を確認する参加者

交通安全のお知らせ

自動車交通安全運動月間について

4月と5月の2か月間、広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、自転車利用時の交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけ、自転車の交通事故防止の徹底を図ること等を目的とした運動を実施中です。

1 期間

令和6年4月1日(月)から同年5月31日(金)までの2か月間

2 運動の重点

自転車利用者の交通ルールの遵守と交通マナーの向上

3 自転車の安全利用の実践

- (1)自転車に乗るときはヘルメットを着用する。
- (2)原則車道の左側を通行する。
- (3)交差点で一時停止をするなど、周囲の安全を確認する。
- (4)携帯電話での通話やスマホの画面注視等のながら運転、イヤホン等の使用、傘差し運転、並進等の危険な運転をしない。信号を守る。
- (5)歩道(自転車通行可の歩道)を通行する場合、歩行者優先で車道寄りを行く。
- (6)夜間はライトを点灯する。
- (7)交通事故を起こした場合は、被害者の救護、警察への通報等を行う。

- (8)自転車には、反射器材、前照灯などその他の安全な通行を確保するために必要となる器材を備えつけること。

4 自転車交通違反取締りの強化

一時不停止、信号無視、右側通行等の自転車の交通違反行為を行った場合、検挙の対象となります。

また、悪質・危険な行為を繰り返す自転車利用者に対しては、「自転車運転者講習」の受講が命じられます。

(自転車運転者講習とは14歳以上の運転者が対象で、15種類の危険行為を行い、交通違反として取締りを受けた者、または、交通事故を起こして送致された者が対象です。)

<徳島県自転車の安全で適正な利用に関する条例>

- ・ヘルメットを着用しましょう!
- ・自転車の保険に加入しましょう!
- ・自転車は点検整備をしましょう!



徳島県警察本部 交通企画課



料理研究家HITOMI先生が薦める、簡単スピーディー、そして楽しんで作れるレシピをご紹介します！



ライスペーパーネギ焼き



▼材料(1人分)

- 青葱……………3本
- ライスペーパー……………1枚
- 卵……………2個
- 麵つゆ(3倍濃縮)……………大さじ1
- サラダ油……………大さじ1

トッピング

- お好み焼きソース……………適量
- マヨネーズ……………適量
- 青のり……………適量
- 紅生姜……………適量

▼作り方



① 青葱は小口切りにし、卵と麵つゆを混ぜる。



② フライパンに油を敷き、上にライスペーパーをのせる。



③ 中火にかけ、上に①を広げ、蓋をして3分蒸し焼きにする。

④ 半分に折って器に盛り、トッピングをしたら出来上がり。

POINT

ライスペーパーは火にかけると縮むので点火する前に置く。



料理研究家 HITOMI

<https://hitomi-cook.com/>

◎免許：調理師免許、食空間テーブルコーディネーター2級、JA全農とくしま園芸部 クッキングアドバイザー
 ◎賞：2014年NHK社会貢献賞授与 ◎活動歴：TV=NHK徳島放送局料理コーナーレギュラー出演/ラジオ=TBS「伊集院光とラジオと」に毎月レシピ提供 ◎JA全農とくしまとのコラボイベント：大阪ガスハグミュージアムにて鰻を使った爽やか料理講習会/大阪中央卸市場にて徳島県の食材を使った料理講習会 ◎カルチャー講師：兵庫イオンカルチャー(姫路、加古川、明石の3店舗)講師/神戸市立長田区勤労センター、神戸市立西区民センター講師 ◎店舗用レシピ開発、商工会での商品開発など

阿南市や小松島市の道路を車で走っていると、あちらこちらの山がほとんど竹に覆われた竹林になっていて、里山の風景が変わっているのを目にします。

竹はしなやかで折れにくく天に向かって真っすぐに伸びるため、生命力を象徴する縁起物として、お正月に飾る門松にも用いられています。

また、竹は昔から日用品や家具、建造物の貴重な材料として使用されてきました。戦後はタケノコ栽培が盛んになり、多くの竹林が作られ管理されていました。しかし、高度経済成長期になり輸入タケノコやプラスチック製品が出回るようになると、竹の需要が急減し、全国各地の竹林は次第に放置されるようになりました。これが、今問題となっている放置竹林です。

竹は成長が非常に早いため、成長スピードの遅い原生の樹木の林に竹が侵入すると、竹の枝葉が日光を遮り樹木の成長を妨げるだけでなく、元々そこで生育していた樹木よりも高密度で繁殖します。

原生の樹木は根を深く張るため、たとえ雨が降っても土壌が緩んでも、土をしっかり支え、土砂崩れが起こるのを防いでくれます。しかし竹は根が浅く地表近くの土

しか支えることができないため、大雨が降り土壌が緩んだ際には竹林ごと斜面を滑り落ち、大規模な土砂災害を引き起こす危険性があります。しかも、原生の樹木が育たなくなり、生態系への重大な影響もあります。

放置竹林の生息域が拡大すればするほど、そのリスクは高まるとされています。この他にも、生物多様性の崩壊、里山の景観損失、民家への侵入など、竹の害による影響は非常に広範囲に及んでいます。

プラスチック製品が普及し需要低下が続いていた竹ですが、近年その高い耐久性と安定性が再び注目され、家具や日用品の原材料としての使用が増えています。カゴやバック、ザルといった従来品はもちろんのこと、竹紙や竹ストロー、竹ティッシュなど全く新しい竹製品もできています。また、竹炭や竹パウダー（堆肥や家畜の飼料、敷料など）の利用も進められています。タケノコの消費振興はもちろんのこと、竹製品や竹資材の生産、購入、使用促進によって少しずつでも放置竹林を減らしていくことが求められます。



うちんくのペット

ホッと一息 可愛いペットで癒されましょう♪



毎日お留守番
がんばってます!



可愛いツーショット♡

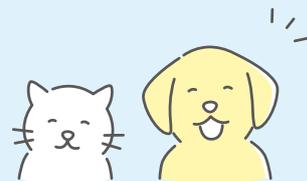
柴犬 宮田 もも (♀・7歳)

性格:人懐っこい

趣味:ボール遊び、お昼寝

好きなもの:何でも食べる

飼い主さんからひとこと:じゃじゃ馬娘ですが、いつもお留守番ご苦労さまです。



※うちんくのペットに掲載ご希望の方は、JA全農とくしま広報室(TEL088-634-2462)までご連絡ください。

～取扱高計画575億円必達をめざして～

令和6年度 全農徳島県本部キックオフ大会

4月8日、当県本部は役職員137人出席のもと、「令和6年度全農徳島県本部キックオフ大会」を徳島市内のホテルで開催しました。

本大会は、当県本部(子会社含む)の全従業員に事業計画の周知・浸透をおこない、計画必達に向けた認識を共有するとともに、従業員間のコミュニケーションを活性化し、風通しの良い職場づくりや部門間連携の促進を目的として、年度初めに毎年開催しています。

第1部事業計画説明会では、はじめに前田安夫運営委員会会長から「令和6年度は、今次3か年計画の最終年度です。農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続くことが予想されますが「生産振興・生産基盤の強化」「バリューチェーンの構築」「JA支援」への取り組みをとおして“なくてはならない全農”の地位を一層強化していきましょう」とあいさつがありました。また佐々木伸夫運営委員会副会長からは「全農の人的・物的資源を積極的にJAの経済事業に投入し、徳島県本部と県下JAが一体となった事業活動の実施により、生産者の手取りを引き上げ、満足度の向上そして持続可能な農業の実現に向けた布石の一年となるようお願いします」とあいさつがありました。

続いて、竹本尚史常務理事が「私ども全農は、すべては組合員のために、そして消費者国民のためにという基本姿勢のもと、本会への結集を通じたJAグループのスケールメリットの最大化に向けて、JA組合員の皆様のご期待にこたえるため、しっかりとした成果を上げ、徳島県の農業振興と農家組合員の所得増大に貢献していくことが一番重要」と述べられました。

その後、坂本雅彦県本部長より、当県本部の取扱高計画を575億69百万円(前年計画比99%)とする令和6年度事業計画や、令和6年度コンプライアンス推進・リスク管理計画の説明がありました。また、各課長からは令和6年度の部門別取り組みが周知され、最後に全従業員を代表して中四国広域農機事業所徳島農機事務所の橋本康祐所長より、計画必達に向けた決意表明およびガンバロウ三唱がおこなわれました。

大会に引き続き開催された情報交換会では、全役職員がお互いに情報を共有し、課題の認識や部門間の連携強化をおこないました。



前田安夫運営委員会会長



佐々木伸夫運営委員会副会長



竹本尚史常務理事



坂本雅彦県本部長



令和6年度全農徳島県本部キックオフ大会の様子



徳島農機事務所・橋本康祐所長による決意表明

～個人4名と3グループを表彰～

令和5年度 徳島県本部奨励賞

令和6年度キックオフ大会において、「令和5年度徳島県本部奨励賞」の表彰をおこない、坂本県本部長が次の4人と3グループに表彰状を授与しました。



奨励賞受賞者

受賞(個人)	受賞内容
米穀畜産部 米穀総合課 島崎 直樹	関西圏を中心とした量販店に対し粘り強い提案と熱意で良好な信頼関係を構築した。更に園芸部と連携した徳島フェアを開催するなどし、新規開拓による徳島県産米の消費拡大に大きく寄与した
園芸部 園芸販売課 斎村 真由	生産経費の販売価格への転嫁が困難ななか、粘り強い交渉により、すだち果汁他の値上げを実現することで、本会が検討をすすめる新規投資事業の収支確保につながる価格の形成に寄与した
園芸部 園芸販売課 飯田 旺輝	本県主力品目の春にんじんにおいて面積拡大している生産者がかかえる労働力不足の課題に対し、生産者とともに作業に携わり支援することで、本会の取り組み姿勢を生産者・JAに理解していただくことができた
営農資材部 肥料農薬課 野上 一成	本県主力品目の春にんじんにおいて面積拡大している生産者がかかえる労働力不足の課題に対し、生産者とともに作業に携わり支援することで、本会の取り組み姿勢を生産者・JAに理解していただくことができた
受賞(グループ)	受賞内容
園芸部 園芸総合対策課	これまでJAによりデザインが異なっていた本県特産のすだち出荷箱を園芸資材課と連携し、JAと検討・協議を重ね「GI徳島すだち」仕様で統一を行った
営農資材部 園芸資材課	これまでJAによりデザインが異なっていた本県特産のすだち出荷箱を園芸総合対策課と連携し、JAと検討・協議を重ね「GI徳島すだち」仕様で統一を行った
営農資材部 肥料農薬課	JAあわ市管内において四国初となる本会とJAとの共同運営店舗である「JA-CAT」を設置するとともに県内5JA目となる物流戸配送も導入し、今後のJA生産資材事業のモデル構築を行った

園芸部

～徳島県産農産物を使用した料理教室～

大阪市で「徳島県フェア」

4月19日、当県本部園芸部は、徳島県関西本部、大果大阪青果株式会社の協力のもと、大阪府大阪市のキッチンソムリエクッキングスクールにおいて、徳島県産農水産物を使用した料理教室「徳島県フェア・とくしま春にんじんまつり」を開催しました。

「徳島県フェア」では、毎回調理する食材を当県本部より提供し徳島県産農産物の美味しさを県外の消費者にPRしており、今回は春にんじんとスダチを使用しました。

当スクールの井出美加講師から「キャロットライス」「にんじんメンチカツ」「ハーブジュレサラダ」、「牛肉とにんじんのスープ」「キャロットケーキ」の調理手順や注意点などの説明を受けながら、参加した6人は次々と料理を仕上げていきました。

試食時には当県本部大阪事務所の小出達也専任課長が「徳島の春にんじんはハ



徳島県産農産物について説明をする小出達也専任課長

ウス栽培しており甘くてやわらかい特徴があります。これから出荷の最盛期を迎え、店頭で見かけることも多くなります。ぜひ、いろいろなレシピで春にんじんを食べてみてください」とお話し、参加者からは「徳島県の春にんじんが甘くて美味しい」「サラダのジュレに入れたスダチが爽やか」といった声が聞かれました。



春にんじんを調理する受講者



野菜たっぷりのレシピ

～副賞・参加賞に徳島県産農産物や加工品を贈る～

「全農杯 2024年 全日本卓球選手権大会 (ホープス・カブ・バンビの部)」 徳島県予選会

4月27日、「全農杯 全日本卓球選手権大会 (ホープス・カブ・バンビの部)」の2024年徳島県予選会が徳島市内のとくぎんトモニアリーナ (徳島市立体育館) で開催され、ホープスの部 (小学6年生以下)、カブの部 (同4年生以下)、バンビの部 (同2年生以下) の男女各部門に、県内から卓球少年・少女80人が参加しました。

開会にあたり、当県本部管理部企画管理課の大高久典課長代理が「日頃の練習の成果を発揮して頑張ってください」とあいさつをおこないました。

試合では、今年7月26日(金)～28日(日)に兵庫県神戸市のグリーンアリーナ神戸 (神戸総合運動公園内体育館) において開催される全国大会への出場をめざして、選手たちが大人顔負けの熱戦を繰り広げました。

表彰式では、男女各部門の入賞者に対し、当県本部から徳島県産農産物・加工品の副賞を贈呈し、健闘を称えました。

今後も全農は「全農杯 全日本卓球選手権大会」や「JA全農チビリンピック」など、スポーツへの協賛を通じて子どもたちの夢や成長、親子のふれあいを応援していきます。

◆徳島県産農産物や加工品を提供しました。

第1位	徳島県産米あきさかり(5kg) すだち微炭酸(250ml×30本)	2袋 1箱	6人
第2位	徳島県産米あきさかり(5kg) ザすだち(カート缶)(195g×15本)	1袋 2箱	6人
第3位	徳島県産米あきさかり(5kg)	1袋	6人
参加賞	ザ・すだち(缶)(190g×30本) すだちグミ 全農「白ごはん」パック 食育パンフレット	2本 1袋 1袋 1冊	参加者 全員



全国大会を目指し熱戦を繰り広げる選手たち



カブ男子の入賞者



あいさつをおこなう企画管理課・大高久典課長代理



選手全員にスダチ飲料やすだちグミなどを配布

～選手に徳島県産スタチ飲料を贈る～

JA全農チビリンピック2024 「JA全農杯全国小学生選抜サッカーIN四国」

4月6日～7日の2日間、JA全農が特別協賛している「JA全農杯全国小学生選抜(8人制)サッカー大会IN四国」が徳島県阿南市のJAアグリあなん陸上競技場で開催され、当県本部から副賞・参加賞として徳島県産スタチ飲料を提供しました。

この地区大会は、5月に日産スタジアム(神奈川県横浜市)で開催する「JA全農チビリンピック2024 JA全農杯全国小学生選抜サッカー決勝大会」への進出をかけて全国9地区でおこなわれており、各地区の代表(16チーム)を決定します。

四国大会には、県内予選を勝ち抜いた各県3チームずつの計12チームが出場し、徳島県からは徳島ヴォルティスジュニア、USFC、CSPが出場しました。

開会式では、当県本部の村上哲副本部長が「サッカーをする上で食はとても大事です。たくさん食べて元気よくプレーしてください」とあいさつをしました。続いて、全選手を代表して徳島ヴォルティスジュニアの木内來芽選手が「監督やコーチ、家族などに感謝しながら全国大会を目指し、スポーツマンシップに則り最高のプレーをすることを誓います」と力強く選手宣誓をしました。

2日間にわたり24試合の熱戦が繰り広げられ、決勝戦は徳島ヴォルティスジュニアとエストレーラス高知が対戦しました。徳島ヴォルティスジュニアが果敢にゴールを狙い先制し、第3ピリオドでも2点を追加し3-0でみごと勝利を飾り四国地区の王者に輝きました。

閉会式では、当県本部の坂本雅彦県本部長から入賞チームと全出場選手へ、四国4県のご当地飲料やパックご飯などを贈呈し激励しました。

今後も全農ではこうしたスポーツ支援を通じて子どもたちの成長・健康を応援するとともに食と農の大切さを伝えていきます。



決勝戦で果敢に戦う選手



各チームに賞品を贈る坂本雅彦県本部長



開会式であいさつをする村上哲副本部長



全選手を代表して選手宣誓をする
徳島ヴォルティスジュニアの木内來芽選手



優勝した徳島ヴォルティスジュニア

大切なお家をより快適に

JAの快適リフォーム

リフォームの費用はどのくらいかかる？

ご希望内容によって異なりますので、まずはお見積をいたします

どこへ相談すればいいかわからない

JAが条件にあった業者を選定します

こんなご心配やお困りごとはありませんか？

建て替えるべきか迷っている

新築住宅に関するご相談も承っております

希望通りにリフォームできるか心配…

相談・アドバイスから工事完了までバックアップ体制も万全です

外装

- 屋根の葺き替え
- 外壁の塗り替え、張り替え
- バルコニー防水の改修

エクステリア

- ウッドデッキやテラスの設置
- 駐車場の土間コンクリート打設
- センサーライトの取り付け
- 宅配ポストの設置

省エネ

- ペアガラスサッシに取り替え
- 高性能断熱材の充填
- LED照明に取り替え
- エコキュートに取り替え

キッチン

- IHヒーターや食洗機付きのキッチンへ交換
- 対面キッチンなどレイアウトの変更

内装

- 手すりの取り付け、床の段差解消、出入口の幅の拡張等、バリアフリーに
- 壁を取って広々LDKに
- 畳をフローリングに
- クロスの張り替え ● ドアの交換

収納

- 押入をクローゼットに
- シューズクロークや食品庫の設置
- 可動棚で整理上手に

浴室・洗面所

- 機能的なシステムバスや洗面台に
- タイルの貼り替え
- 室内干しもできるように

トイレ

- 和式便器を洋式便器に
- シャワー便座に取り替え
- 幅を広げてゆったりと

その他お気軽にご相談ください！

チェック項目

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 屋根 (瓦のスレ、割れ、雨漏り、金属部分のサビ) | <input type="checkbox"/> 床 (床材の割れ、たわみ、キシミ、キズ) |
| <input type="checkbox"/> 外壁 (色あせ、汚れ、ヒビ) | <input type="checkbox"/> キッチン (古い流し台、ガスコンロ、流しの詰り、水漏れ) |
| <input type="checkbox"/> 開口部 (開閉の悪さ、ガラス・網戸損傷、結露) | <input type="checkbox"/> トイレ (便器のガタツキ、流れが悪い、匂い、黄ばみ) |
| <input type="checkbox"/> 雨樋 (樋の水漏れ、外れ、割れ) | <input type="checkbox"/> 浴室 (タイルの割れ、目地の割れや剥がれ) |
| <input type="checkbox"/> 土台 (防蟻・防蟻処理、基礎のヒビ、キズ) | <input type="checkbox"/> 洗面台 (腐食、水あか、ヒビ、キズ) |
| <input type="checkbox"/> 天井・壁 (剥がれ、たわみ、シミ、キズ、結露) | <input type="checkbox"/> 内装 (畳、カーテン、ふすま、障子 など) |

お問い合わせは

お近くの JA または JA全農

全農 徳島施設農住事務所
徳島市北佐古一番町5-12

088-634-2525



Rinnai

ガス衣類乾燥機「乾太くん」

洗濯物って、 どこで乾かしていますか？



ガス衣類乾燥機

はやい
乾太くん

たっぷり 使い勝手の
乾燥の 良い
8kgタイプ 5kgタイプ

- 1 電気よりも早い！
- 2 とにかくリーズナブル！

あなたのお悩み、**カラッと解決！**

おすすめは、**ココです**

お問い合わせはこちら



お近くのJA または

ジェイエイ徳島燃料サービス株式会社

☎ 088-695-5380 までお問い合わせください



JAタウン
「新鮮大好き徳島」



JA全農とくしま
YouTubeチャンネル



JA全農とくしま
Instagram



JA全農とくしま
ホームページ

全農グループ経営理念

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

全農

JA全農とくしま

<https://www.zennoh.or.jp/tm/>



「JA全農とくしま情報」に 関するお問い合わせ先

本紙「JA全農とくしま情報」の購読料・配送料は
無料です。送付先の氏名・住所変更や、
送付の停止につきましては、
JA全農とくしま企画管理課広報室
(電話 088-634-2462)
までご連絡ください。

